ポストAI時代のモビリティアーキテクチャ

― デザイン・空力・自動運転がひらく街の風景 ―

MOBILITY
ARCHITECTURE
BEYOND AI

人・街・モビリティが
重なり合い、
新しい風景がはじまる。



2026年10月31日（土）
13:30～15:30（開場・受付 13:00）

会場
東京工科大学 蒲田キャンパス 3号館11階
デザインクリエーションルーム（31116教室）
〒144-8535 東京都大田区西蒲田５丁目23−22（JR「蒲田駅」西口より徒歩2分）

主催　東京工科大学 未来モビリティ研究センター（FMRC）
参加費　無料（事前登録制）
定員　60名（先着順）
対象　一般、学生、デザイナー、技術者・研究者、都市・建築関係者

参加申込（事前登録制・先着順）
下記 URL または QR コードよりお申し込みください
https://forms.gle/jSxKeL3ntzvYqfdVA

開催趣旨

自動運転技術の進展と生成 AI の普及により、モビリティのデザインと社会における役割は大きな転換点を迎えています。均質化しがちな自動運転車両の先に、私たちはどのような街の風景や生活空間を描くことができるのか。本シンポジウムでは、元 BMW のデザイナーとして欧州のカーデザイン思想を体現してきた永島譲二氏、レーシングカーの空力と構造美を追求し続ける由良拓也氏、そして自動運転バスの社会実装を牽引する須田義大教授が登壇。「AI 時代に求められる人間の感性」「機能美と都市空間の再設計」「街を支える自律運行インフラ」という 3 つの視点が交差するとき、未来の移動空間はどう再定義されるのか。元フジテレビアナウンサーの野島卓教授によるファシリテーションのもと、デザイン、工学、都市、そして人間工学の境界を越えた議論を展開します。

登壇者



永島 譲二 氏
東京工科大学 客員教授
/ カーデザイナー



由良 拓也 氏
東京工科大学 客員教授
/ レーシングカーデザイナー



須田 義大
東京工科大学 教授
片柳研究所長
/ 未来モビリティ研究センター長
/ 東京大学 名誉教授

プログラム 13:30-15:30

13:30～13:40　**オープニング＆趣旨説明**
進行：野島 卓（東京工科大学 実践研究連携センター 教授）
「自動運転バスの社会実装現場から（FMRC 紹介）」

13:40～14:10　**基調講演①**
「都市の公共交通と自動運転アーキテクチャ（仮）」
登壇：須田 義大
（東京工科大学 教授 片柳研究所長
/ 未来モビリティ研究センター長 / 東京大学 名誉教授）

14:10～14:30　**基調講演②**
「レーシングカーの空力と構造美（仮）」
登壇：由良 拓也 氏
（東京工科大学 客員教授 / レーシングカーデザイナー）

14:30～14:50　**基調講演③**
「AI・自動運転時代の自動車デザインの課題（仮）」
登壇：永島 譲二 氏
（東京工科大学 客員教授 / カーデザイナー）

14:50～15:00　**休憩**

15:00～15:30　**パネルディスカッション**
「街の風景をどう創るか ― デザイン・空力・自動運転の交点」
パネリスト：永島 譲二 氏 × 由良 拓也 氏 × 須田 義大
ファシリテーター：野島 卓

15:30　**閉会**

※内容は現在調整中です。予告なく変更となる場合がございます。